価値創造プロセスと経営資本の活用

社会課題と業界変化（リスクと機会）（P21）

- ◆ カーボンニュートラルへの対応
- ◆ デジタル化・AI活用の加速
- ◆ 少子高齢化・労働人口の減少
- ◆ 廃材の再資源化と循環型社会の確立
- ◆ 災害の激甚化と早期復興
- ◆ ESGに対する意識の高まり

	INPUT（経営資本の戦略）	INPUT項目（2025年度）	主に関連するマテリアリティ	OUTCOME項目（2025年度）	ステークホルダーとの価値協創	2030年ビジョンで目指す姿	参照ページ
財務資本	● 強固な財務基盤とデットの活用	● 総資産644億円、自己資本比率58.0%、有利子負債80億円	● カーボンニュートラルの実現、人材育成と働きがいの向上	● ROE7.1%（エクイティスプレッド1.2pt）、配当性向60.7%	● 株主・投資家との建設的な対話を通じて資本配分を高度化し、成長投資と安定的な株主還元を両立	● 売上高700億円、営業利益率10.0%、ROE10.0% ● 時価総額500億円	▶P23
製造資本	● 収益力の強化につながる効率化投資	● 設備投資20億円、総資産に占める有形固定資産25.0%	● 新たな顧客価値の創造、人材育成と働きがいの向上	● 有形固定資産161億円（+8億円）	● 宇部興機・松田機工との協働による高品質・安定供給と顧客の安定操業への貢献	● 高水準な設備投資の継続、業務平準化やグループ会社との協働による生産能力の増強	▶P27、P44
人的資本	● 自律的に改革・挑戦を行うプロアクティブな人材	● 連結従業員数1,169名（うち外国人従業員188名）	● 新たな顧客価値の創造、人材育成と働きがいの向上	● 女性管理職比率1.9%、入社後3年間離職率18.7%	● 従業員一人ひとりの成長と挑戦を支え、多様な知見と技術を結集し、顧客・社会の課題解決に貢献	● DE&Iの進展による組織風土の変革と収益への貢献 ● 女性管理職比率7.0%	▶P51、P54
知的資本	● サービス力を活かしたビジネスモデル変革	● 研究開発費6.7億円、特許保有件数207件	● 新たな顧客価値の創造、カーボンニュートラルの実現	● 特許登録件数14件（+5件）、意匠登録件数14件（+0件）	● 加熱・混練・搬送・制御技術を融合し、新たな顧客価値を創出	● 脱炭素化、資源循環型社会の確立に向けたトップメーカーとしての具体的な提案	▶P7
社会関係資本	● ソリューションパートナーとしての信頼	● トンボ会（販売代理店）122社、アキツ会（協力工事店）206社	● 新たな顧客価値の創造	● 取引先様との高い信頼関係、地域社会への貢献	● 顧客・協力会社・地域社会との信頼と連携を基盤に、顧客の安定操業と持続可能な社会インフラを支える	● サプライヤーとの協働による技術・技能の継承、地域社会との共存共栄	▶P58
自然資本	● 省エネルギーの推進、代替燃料の活用	● 電力使用量（単体）355.5万kWh	● カーボンニュートラルの実現、資源循環型社会の確立	● CO_2排出量（スコープ1&2&3）：53.9%減（2013年度比） ● 脱・低炭素製品売上高4.9億円	● 顧客・取引先との協働により、資源・エネルギーの有効活用を進め、脱炭素・資源循環型社会の実現に貢献	● 2030年度のスコープ1&2&3のCO_2排出量を約50%削減（2013年度比） ● 脱・低炭素製品売上高24億円	▶P47

▶ 詳細はP27-28をご参照ください